

助成事業名

住民が取組む避難所立上げ手順確認事業（まちづくり助成2年目：八木山自主防災会）

事業概要

住民が取組む避難所開設模擬訓練（災害発生直後の、初動期対応訓練）

実施内容



市避難所運営マニュアルに基づき

「避難所開設初動期模擬訓練」実施

日時：令和7年1月12日(日)※

場所：八木山小学校体育館

※多くの住民が取り組みを知り、参加できるよう、地域住民が多く集う八木山まちづくり協議会主催の「新春のつどい」と同時開催した。

参加者：

- ・八木山自主防災会(13名)
- ・各務原市防災推進ネットワーク(3名再掲)
- ・各務原市防災推進員(1名)・関市防災士(1名)

内容：

①開設初動期

◆避難所開設キット確認 ◆施設利用範囲決定(配置図)

②初動運営

◆居住区設営 ◆車中泊避難・ペット避難(パネル展示)

③トイレの確保

◆簡易トイレ展示 ◆災害トイレ展示

④通信手段の確保

◆災害時特設公衆電話パネル展示

⑤災害用対策車両の展示

◆国土交通省災害派遣作業車(本部車1台、照明車1台)

⑥食糧・水確保

◆配布数不足対策(避難所運営委員会)

⑦交流スペース

◆ドローン体験 ◆救急措置 ◆幼児玩具 ◆多言語対応

事業成果

- ①「避難所開設模擬訓練」を各務原市防災推進ネットワーク会員・防災士・国土交通省と共に実施できたことにより、「共助」「公助」による避難所初動運営訓練の在り方を学ぶことができた。
- ② 防災推進ネットワーク・防災士との協働により、事業の実施で得られる利益を、市内全域で共有・水平展開することができた。
- ③ 身を守るためには、指定避難所以外（公園等）への避難も日頃から考えておくこと（自助努力）の気付き。

収支報告

事業費総額 230,547 円 / 助成金交付確定額 76,000 円

助成経費内容

協力団体謝礼、防災食体験用アルファ米、消耗品、発電機、カセットコンロ、プレート、チェーン、南京錠、幼児用大型玩具、折りたたみ台車、コーンバー、電源ドラム、配布資料、振込手数料